

# 第94期 事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

## BUSINESS REPORT for the twelve-month period ended march 31, 2019

### 当社グループの業績

売上高	(前年同期比4.7%増) <b>41,317</b> 百万円
営業利益	(前年同期比34.8%減) <b>748</b> 百万円
経常利益	(前年同期比34.1%減) <b>846</b> 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	(前年同期比71.5%減) <b>244</b> 百万円
一株当たり 当期純利益	<b>16円67銭</b>

#### 注記事項

本報告書は2019年4月26日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金融庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、代表取締役社長に就任しました藤井晃二でございます。新しい経営体制のもと、日本高周波鋼業の強み・独自性をさらに強化しながら、持続的成長に向けて取り組んでまいります。

第94期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の概況をご報告申し上げます。

### 事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかに回復しました。輸出は弱含みの動きとなりましたが、企業業績や景況感が総じて良好な水準を維持するもとで設備投資が増加しており、また、個人消費も、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに増加する等、国内景気は堅調に推移しました。

こうした経済環境のなか、当社グループにおいては、売上数量は概ね前年同期並みの水準となりましたが、原燃料等のコスト上昇が業績に大きな影響を与えました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高413億1千7百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益7億4千8百万円(前年同期比34.8%減)、経常利益8億4千6百万円(前年同期比34.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億4千4百万円(前年同期比71.5%減)となりました。

(2ページに続く)

代表取締役社長

藤井 晃二



## 対処すべき課題

今後の経済動向につきましては、雇用・職場環境の改善や、総じて良好な景況感や企業業績のもとでの設備投資の増加など、国内景気は緩やかな回復基調が続くと期待されています。しかしながら、米中貿易摩擦の影響等もあり足元の需要環境は厳しさを増しており、消費税増税の影響等も考慮すると、今後の需要環境は不透明と考えざるを得ません。また、一昨年以来の原燃料や電力、副資材等の価格変動が業績に大きな影響を与えており、これらの市況動向にも留意する必要があります。

こうした状況の中、当社グループは、強靱な事業体質と安定した収益体質を構築すべく、引き続き2016～2020年度中期経営計画「CHANGE (Challenge And Generate) 2.0」に沿った取り組みを進め、将来の成長に向け、「挑戦」と「創造」に邁進いたします。

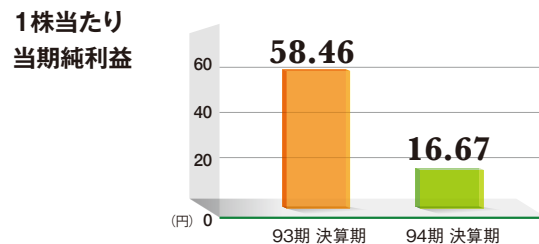
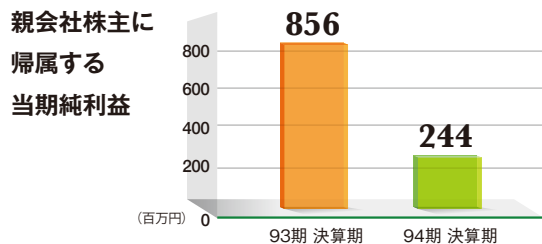
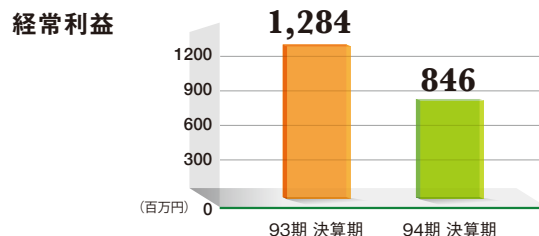
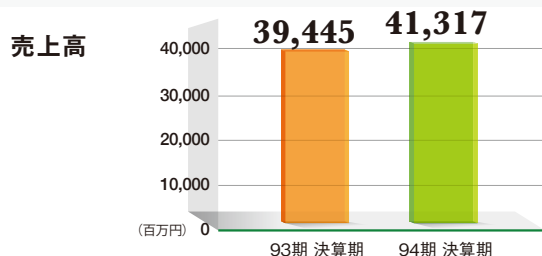
2017年10月に公表いたしました当社における製品の検査結果改ざん、昨年3月に公表いたしました当社子会社における製品の検査結果ねつ造のような行為を二度とおこさぬよう、様々なコンプライアンス活動を展開してまいりました。

今後も、コンプライアンス強化への取り組みはもとより、安全活動、環境保全、防災対策、リスクマネジメント体制の強化を進めるとともに、組織の活性化による明るい風土作りや、人材確保と育成に注力し企業基盤を強化してまいります。

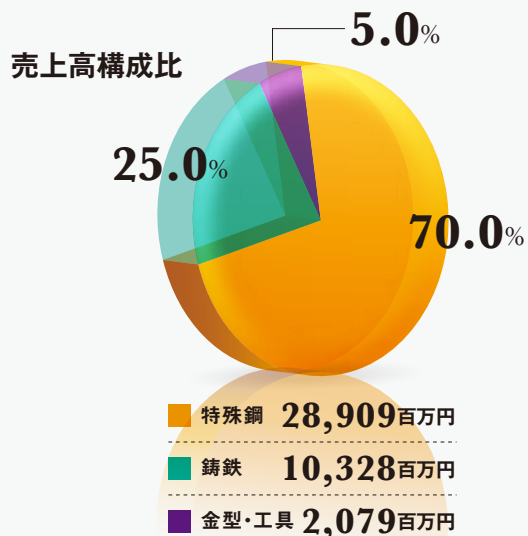
株主の皆様には今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

## 》業績の推移(連結)



## 》セグメント別概況(第94期 決算期)



■ 特殊鋼	28,909百万円
■ 鋳鉄	10,328百万円
■ 金型・工具	2,079百万円

### ■ 鋳鉄部門

**10,328百万円(25.0%)**

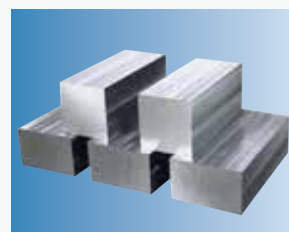
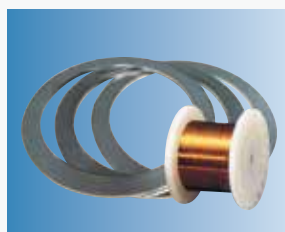
産業機械向けで一部調整が見られたものの、トラックなどの商用車向け及び建設機械向けが堅調に推移した結果、売上数量は前年同期比で増加しました。また、販売価格の上昇も寄与し、当連結会計年度の売上高は103億2千8百万円(前年同期比6.4%増)となりました。損益面では、売上数量の増加や販売価格の改善はあったものの、原燃料コストの上昇に加え、補助金の収益納付などにより、営業利益は6億3千7百万円(前年同期比7.0%減)となりました。



### ■ 特殊鋼部門

**28,909百万円(70.0%)**

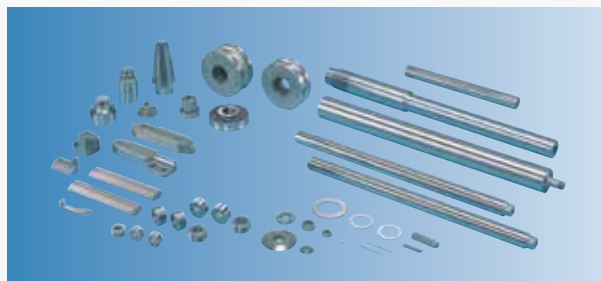
自動車向けなどは堅調に推移したものの、輸出向けで一部調整があったことから売上数量は前年同期並となりました。一方、販売価格が上昇した結果、当連結会計年度の売上高は289億9百万円(前年同期比4.4%増)となりました。損益面では、販売価格の改善はあったものの、原燃料、電力、副資材等の価格上昇や労務費等の操業コストの上昇及び分塊圧延ライン更新工事の影響などにより、営業利益は1億3千8百万円(前年同期比68.5%減)となりました。



### ■ 金型・工具部門

**2,079百万円(5.0%)**

自動車向けが堅調に推移したことにより、当連結会計年度の売上高は20億7千9百万円(前年同期比1.4%増)となりました。損益面では、売上構成の変化などにより、2千7百万円の営業損失(前年同期は2千2百万円の営業利益)となりました。



# 日本高周波鋼業グループ2016~2020年度中期経営計画 (2019年4月26日 一部計画見直し) CHANGE (Challenge And Generate) 20

## 経営方針

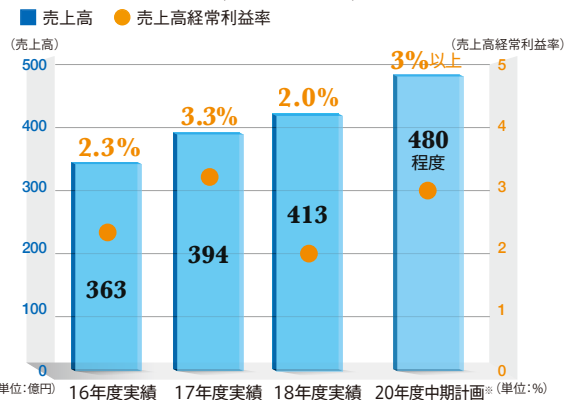
当社グループは、工具鋼、特殊合金の非量産型高級特殊鋼製品、鋳鉄製品及び金型・工具製品の製造販売を通じ、幅広い産業分野(自動車、エレクトロニクス、産業機械、エネルギー、住宅他)へ優れた製品を提供して顧客および社会に貢献してまいります。

## 中期基本方針 (20年度VISION)

- ブランド力向上 - 高付加価値化の推進
- Q(品質)、C(コスト)、D(納期)競争力の強化
- 事業領域の拡大
- KOBELCOグループにおける役割強化

## 数値目標

### ■ 中期最終年度(2020年度)での達成目標



(単位:億円) 16年度実績 17年度実績 18年度実績 20年度中期計画\* (単位:%)

※売上高を450億円から480億円へ、売上高経常利益率を5%から3%へそれぞれ見直しいたしました。

## 部門別重点施策

### ■ 特殊鋼部門

- ① 高付加価値製品の拡大  
 工具鋼、特殊合金共に、以下の活動を推進いたします。  
 (工具鋼分野)  
 ・自動車プレス金型用鋼の拡販とプレス成形対応の強化(表面処理の強化等)  
 ・海外向を主体としたアルミ押し出し金型用鋼の拡販  
 ・高級プラスチック金型用鋼の拡販と更なる高機能化  
 (特殊合金分野)  
 ・小ロット対応力を活かした溶接材料、特殊品分野での需要取り込み  
 ・マルチサイト系ステンレスのピストンリング材、耐熱鋼などの拡販  
 (両分野共通)  
 ・要員増強による技術サポートの強化
- ② コスト競争力強化  
 ・省エネ投資や分塊圧延ライン更新工事など大型投資を当初の計画通り実施いたしました。  
 ・今後も設備投資を積極的に実施し、コスト競争力を強化してまいります。  
 (主要な設備投資の実績と計画)  
 ・鍛造3000tプレスのマンipレータ更新:17年度完了  
 ・加熱炉等の燃料転換工事:順次実施中、19年度完了予定  
 ・分塊圧延ライン更新工事:完工(2019年4月)およびフル稼働(2020年度)により、コストダウンおよび増産効果を実現  
 ◇品質、歩留、生産性の向上  
 ◇平板、角材等の生産工程合理化(外注費の削減を含む)  
 ◇丸材の生産(新規)
- ③ 技術開発の推進  
 ・GHX(高鏡面金型用鋼)や耐熱鋼製品などの商品化、磁歪合金の開発などを実施いたしました。  
 ・今後もお客様ニーズにマッチした新規商品の開発と生産技術の強化を推進いたします。

### ④ 品質の向上

・今後も設備投資効果の発揮、設備管理の強化と品質の見える化により、品質の向上を推進いたします。

### ⑤ 安定生産の維持

・今後も故障発生時の低減および故障発生時の休止期間のミニマイズのために、設備管理の強化と重要予備品の充実を推進いたします。

### ⑥ KOBELCOグループとしての役割強化

・分塊圧延ライン更新工事の効果を生かして、神戸製鋼グループの小ロット品、特殊品等の供給を担ってまいります。

### ⑦ 販売価格の改善

・原燃料、副資材のコストが当初の想定より上昇したため、販売価格の改善活動を展開しております。  
 ・今後もサーチャージ制の拡大など、原料価格の変動による業績影響をミニマイズするべく取り組んでまいります。

### ■ 鋳鉄部門

当初目標で掲げた売上高100億円の事業規模については18年度に達成いたしました。今後も以下の課題に取り組み、事業規模の維持と収益力強化を目指してまいります。

#### (主な取り組み)

- ・新規需要家および新規品の受注拡大
- ・設備投資等による品質・生産性の改善\*
- ※生型ライン(小型用)更新、自硬性増強工事:18年度完了

### ■ 金型・工具部門

高付加価値製品の拡販に加え、金型の設計から製作までの一貫したサービスを行うツーリングメーカーへの展開を図るとともに、設備投資によりコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

#### (主な取り組み)

- ・超精密加工製品の拡販
- ・設計および設計一貫金型事業の拡大
- ・加工能力の強化と生産性の向上

## 》第95期業績予想(連結) 2019年4月26日に発表いたしました通期の業績予想は以下の通りです。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益
<b>43,300</b> 百万円	<b>220</b> 百万円	<b>230</b> 百万円	<b>220</b> 百万円	<b>15円01銭</b>

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。

## 》配当状況

当社は定款において9月30日(第2四半期末日)及び3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

	1株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	中間期末	期末	年間			
第95期	未定	未定	未定	—	—	—
第94期	0.00	15	15	219	90.0	1.1

## GROUP TOPICS

### 富山製造所 新分塊圧延ライン稼働開始

当社では、2018年12月から進めていた分塊圧延ラインの更新工事を完了し、2019年4月より稼働開始いたしました。

当該ラインでは約50年間稼働した既存機の老朽更新と共に、生産性向上や多機能化などを目的として、関連設備の更新を含め、総工事費約30億円をかけた大型設備投資を行いました。

新鋭機では、従来製品の生産性が向上しただけでなく、従来の角鋼以外に既存機では製造できなかった丸鋼や平鋼等の圧延が可能になりました。

新鋭機の性能を最大限に活かし、多種に亘る高級特殊鋼製品をご提供することで、お客様のニーズに応えてまいります。



### 高周波 casting (株) 自硬性鋳物 生産能力増強設備投資実施

高周波 casting (株) の自硬性鋳物製品は、ダクタイル鋳鉄、普通鋳物や合金鋳鉄材にも対応できるなど、タイムリーな納入対応と合わせ、自動車、輸送機器、建設機械、産業機械など幅広い分野で高い評価をいただいております。

昨今の旺盛な需要により生産能力不足の状態が続いておりましたが、生産能力増強の一環として以下の設備投資を総工費約3億円で実施しました。

- ・ 鋳仕上げ建屋新築(504m<sup>2</sup>)と大型製品鋳仕上げ部門移設(19/3月)
- ・ 大型製品鋳仕上げ機械 大型CNCバリンダー導入(19/3月)
- ・ 小中枠造型ラインの鋳型搬送電動動力化改造(19/4月)

今後予定している、大枠ラインの設備一部更新を加えた一連の設備増強や要員増により、2020年度までに自硬性鋳物製品の生産能力を2018年度比で25%の能力増強を目指してまいります。



## 》連結財務諸表

### 連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2018年 3月31日)	当連結会計年度 (2019年 3月31日)
<b>資産の部</b>	<b>44,297</b>	<b>48,016</b>
<b>流動資産</b>	<b>20,634</b>	<b>22,338</b>
現金及び預金	169	180
預け金	337	84
受取手形及び 売掛金	7,984	8,116
製品	2,883	3,508
仕掛品	5,261	5,884
原材料及び貯蔵品	3,802	4,334
その他	205	239
貸倒引当金	△10	△8
<b>固定資産</b>	<b>23,662</b>	<b>25,677</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>21,252</b>	<b>23,216</b>
建物及び構築物	3,766	3,934
機械装置及び 運搬具	7,102	7,546
土地	8,489	8,489
建設仮勘定	1,494	2,750
その他	399	495
<b>無形固定資産</b>	<b>95</b>	<b>404</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,314</b>	<b>2,055</b>
投資有価証券	1,153	916
繰延税金資産	462	458
退職給付に係る資産	509	503
その他	219	247
貸倒引当金	△30	△70
<b>資産合計</b>	<b>44,297</b>	<b>48,016</b>

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3月31日)	当連結会計年度 (2019年 3月31日)
<b>負債の部</b>	<b>23,474</b>	<b>27,327</b>
<b>流動負債</b>	<b>17,471</b>	<b>20,112</b>
支払手形及び買掛金	5,103	4,488
電子記録債務	3,334	3,031
短期借入金	5,233	8,046
1年内返済予定の 長期借入金	346	280
未払金	319	470
未払費用	1,445	1,393
未払法人税等	167	125
賞与引当金	501	505
廃棄物処理費用引当金	58	0
営業外支払手形 その他	728	1,450
	232	319
<b>固定負債</b>	<b>6,002</b>	<b>7,214</b>
長期借入金	315	1,220
再評価に係る 繰延税金負債	1,783	1,783
役員退職慰労引当金	83	107
退職給付に係る負債 その他	3,332	3,529
	487	573
<b>純資産の部</b>	<b>20,822</b>	<b>20,688</b>
<b>株主資本</b>	<b>19,505</b>	<b>19,529</b>
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,734	2,758
自己株式	△38	△38
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>1,317</b>	<b>1,159</b>
その他有価証券 評価差額金	273	123
土地再評価差額金	1,360	1,360
退職給付に係る 調整累計額	△316	△324
<b>負債・純資産合計</b>	<b>44,297</b>	<b>48,016</b>

単位未満切捨て

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>39,445</b>	<b>41,317</b>
売上原価	34,200	36,291
<b>売上純利益</b>	<b>5,244</b>	<b>5,025</b>
販売費及び 一般管理費	4,096	4,276
<b>営業利益</b>	<b>1,148</b>	<b>748</b>
営業外収益	253	235
営業外費用	116	137
<b>経常利益</b>	<b>1,284</b>	<b>846</b>
特別利益	223	256
特別損失	480	697
<b>税金等調整前 当期純利益</b>	<b>1,027</b>	<b>405</b>
法人税、住民税 及び事業税	144	104
法人税等調整額	25	56
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>856</b>	<b>244</b>

単位未満切捨て

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当連結会計年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>1,498</b>	<b>△285</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△3,143</b>	<b>△3,278</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>635</b>	<b>3,320</b>
<b>現金及び現金同等物 の増減額(減少△)</b>	<b>△1,009</b>	<b>△242</b>
<b>現金及び現金同等物 の期首残高</b>	<b>1,516</b>	<b>507</b>
<b>現金及び現金同等物 の期末残高</b>	<b>507</b>	<b>264</b>

単位未満切捨て

## 》会社データ

### 会社概要 (2019年3月31日現在)

会社名	日本高周波鋼業株式会社
設立	1950年5月18日
資本金	156億69百万円
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023 (代) FAX 03-5687-6047
上場	東京証券取引所 1部 上場
売上高	連結 413億17百万円 (2018年度実績) 単体 259億20百万円 (2018年度実績)
従業員数	連結 1,271名 単体 564名
事業内容	特殊鋼部門: 工具鋼、特殊合金及び軸受鋼製品の製造・販売 鋳鉄部門: 特殊鋳物製品の製造・販売 金型・工具部門: 金型及び金型部品等の製造・販売
主要取引銀行	みずほ、三井住友、三菱UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

### 役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	藤井 晃二
常務取締役	山名 壽
常務取締役	湖東 彰弘
常務取締役	堂野 和洋
常務取締役	堀川 健一
取締役	定村 剛
取締役	小野寺 謙司
取締役	村越 久人
取締役	下野 茂治
取締役	松田 徹也
取締役	宮島 哲也
取締役	小島 一美
監査役	久留島 靖章
監査役	中條 芳治
監査役	松本 博明
監査役	小原 孝秀

(注) 1. 宮島 哲也、小島 一美の両氏は社外取締役であります。  
2. 松本 博明、小原 孝秀の両氏は社外監査役であります。

## 》株式データ (2019年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	14,687,617株 (うち自己株式数31,417株)
株主数	10,442名

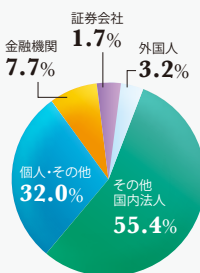
### ●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	7,575	51.68%
浅井産業株式会社	271	1.85%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	253	1.73%
野村信託銀行株式会社 (投信口)	178	1.21%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	147	1.00%
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	144	0.98%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	133	0.91%
林 良策	118	0.81%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口1)	113	0.77%
豊田通商株式会社	110	0.75%

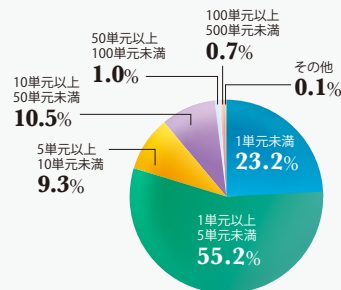
(注) 持株比率は自己株式(31千株)を控除して計算をしております。

### 株式分布状況

#### ●所有者別株式数



#### ●所有単元数別株主数



## 日本高周波鋼業株式会社

### 本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階  
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

### 大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階  
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

### 名古屋支店

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町9 株式会社カムス 中部テクノセンター内  
TEL0561-86-9005 FAX0561-86-9008

### Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd., Chongnonsee, Yannawa, Bangkok  
10120, Thailand  
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

### 富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15  
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

## グループ会社

### 高周波鍛造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108  
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

### 高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1  
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

### 株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328  
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

### エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15  
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

### 麦卡発商貿(上海)有限公司

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店10階1004号  
TEL 86-21-6443-5061 / 5062 FAX 86-21-6443-5066

### 株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鍛造内  
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人事務取扱場所 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1

みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 100株

公告方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>  
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

## ●郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行※およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問い合わせ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取以外の株式売買はできません。証 券会社等に口座を開設し、株式の 振替手続を行っていただく必要が あります。

当社のホームページでも詳しい情報を同時に開示しております。

ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索

